

**Japanese Publication for Utility Model Application**

**No. 99180/1989 (Jitsukaihei 01-99180)**

A. Relevance of the above-identified Document

The following is a partial English translation of exemplary portions of non-English language information that may be relevant to the issue of patentability of the claims of the present application.

B. Translation of the Relevant Passages of the Document

[CLAIMS]

A processing apparatus for processing an edible food container, the processing apparatus comprising:

a rolling bar member 1 having (a) a cone body 11, on a peripheral surface of which several line-shaped anti-slip protrusions 12 are formed, and (b) a holding member 14, which is extended from a round-shaped edge surface of the cone body 11; and

a rolling stand 2, having (c) a stand 21 on which a supporting member 22 stands, (d) a cone-shaped frame 23 attached to the supporting member 22, the cone-shaped frame allowing the cone body 11 to be inserted therein and being cut away to have frame ends 24 and 25, (e) a guiding plate 26 attached to the supporting member 22 in such a manner that one edge surface of the guiding plate abuts against the frame end 24 while the guiding

225 Page Park (copy)

plate has a constant gap with the frame end 25 therebetween.

...

[MEANS TO SOLVE THE PROBLEMS]

The conventional problems can be solved by using a processing apparatus for processing an editable food container, the processing apparatus including (A) a rolling bar member having (a) a cone body, on a peripheral surface of which several line-shaped anti-slip protrusions are formed, and (b) a holding member, which is extended from a round-shaped edge surface of the cone body; and (B) a rolling stand, having (c) a stand on which a supporting member stands, (d) a cone-shaped frame attached to the supporting member, the cone-shaped frame allowing the cone body to be inserted therein and being cut away to have frame ends and, (e) a guiding plate attached to the supporting member in such a manner that one edge surface of the guiding plate abuts against one frame end while the guiding plate has a constant gap with the other frame end therebetween....

[EFFECT]

...

The container dough is pushed into the cone-shaped frame via the guiding plate. Then, the rolling bar member is inserted into the cone-shaped frame and rotated being held at the holding member in such a direction that the container dough is rolled up. The rotation pulls the container dough into the frame from the

THE BOSTON HERALD

guiding plate and rolls the container dough along the peripheral surface of the cone body by the effect of the line-shaped anti-slip protrusions on the peripheral surface of the cone body. Thereby, a cone-shaped edible container is formed.

1999

# 公開実用平成 1-99180

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-99180

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)7月3日

A 21 C 15/00

B-7236-4B

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 可食容器加工具

⑯ 実 願 昭62-196228

⑰ 出 願 昭62(1987)12月24日

⑱ 考 案 者 伊 藤 禎 美 東京都中野区鷺宮1丁目30番5号

⑲ 出 願 人 伊 藤 禎 美 東京都中野区鷺宮1丁目30番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 且 範 之

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 可食容器加工具

### 2. 実用新案登録請求の範囲

周面に数条の滑り止め突条12を形成したコーン体11と前記コーン体11の円形端面より突出した把持柄14とを有してなる巻込み棒材1と、支持片22を立設したスタンド21と前記支持片22上に取り付けられ、前記コーン体11を挿入し得るコーン状フレーム23と、該コーン状フレームの切除された一方のフレームの端24に端面を当接させると共に他方のフレーム端25との間に一定の間隙が生じ得るように前記支持片22上に取り付けられた案内プレート26とを有してなる巻込み加工スタンド2とで構成されていることを特徴とする可食容器加工具。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

この考案は可食容器加工具に係り、更に詳述すればアイスクリーム等を入れる可食容器を販売店頭で焼成体よりコーン状の容器に巻成する

可食容器加工具に関するものである。

〔従来の技術〕

アイスクリーム等を入れて販売するコーン状をなす可食容器は、これを専用に作るメーカーでコーン状等または円盤状のものに加工されたものをアイスクリーム等の冷菓子売店で購入し、コーン状のものはそのまま、また円盤状のものはコーン状等に加工して使用している。

このコーン状をなす可食容器は、小麦粉を練成したものを型に入れて焼成し一度にコーン状容器として加工されたものと、薄い円形の板状に焼いたものをコーン状に巻いて作るものとが現在使用されている。

〔考案が解決しようとする問題点〕

しかし、いずれの加工法で作られた可食容器も、衝撃に対して脆く、専業メーカーから問屋を経て小売店に届くまでの輸送過程で数パーセントはこわれ、小売店でのアイスクリーム詰込中や収納ケースからの取出し時にまた数パーセントこわれてしまいロスが大きい。

また収納ケースを開いて長時間そのままにしておくとしけてしまいサクサクした歯当りがなくなってしまうという問題点がある。

また薄い円型板状に巻いたものをコーン状に人手だけで巻いて作るにはかなりの熟練を要する。

〔問題点を解決するための手段〕

上記した従来の問題点は、周面に数条の滑り止め突条を形成したコーン体と前記コーン体の円形端面より突出した把持柄とで構成された巻込み棒材と、支持片を立設したスタンドと前記支持片上に取付けられ、前記コーン体を挿入し得るコーン状フレームと、該コーン状フレームの切除された一方のフレーム端に端面を当接させると共に他方のフレーム端との間に一定の間隙が生じ得るように前記支持片上に取付けられた案内プレートとを有してなる巻込み加工スタンドとを用い、店頭でその都度可食容器を作ることで解決できる。

〔作用〕

この考案の可食容器加工具は、一次焼成した薄い円板状の生地を二次焼成してから該容器生地を案内板上よりコーン状フレーム内に押込み、このあと巻込み棒材を前記コーン状フレーム内に挿入してからその把持柄を持ってこれを自喰い込み方向に廻すことで、コーン体の周面の滑り止め突条が作用して前記容器生地を案内プレート上よりフレーム内に引込みコーン体の周面に巻付けることでコーン状の可食容器ができる。

〔実施例〕

この考案の可食容器加工具は、第1図、第2図に示すように周面に数条の滑り止め突条12を設けたステンレス等の錆にくい金属やプラスチックで作られたコーン体11の円形端に前記コーン体11内に密に挿入し得る挿入部をベース13に設けた把持柄14を挿着固定した巻込み棒材1と後述する巻込み加工スタンド2とで構成される。

なお、把持柄14は軽量化のため内部を空洞化したステンレス等の錆にくい金属または硬質プラスチックで作られている。

また、前記巻込み加工スタンド2は、第3図に示すように金属または硬質プラスチックにより形成され、スタンド21の一面に立設した支持片22上にステンレス等の錆にくい金属またはプラスチックで前記したコーン体11が挿入し得る大きさのコーン状フレーム23をねじ20で螺着し、該コーン状フレーム23の切除されてできた一方のフレーム端24には、同様に錆にくい金属で作られた案内プレート26を当接して、前記コーン状フレーム23の内曲面がスムーズに平面と連らなるように前記案内プレート26を前記コーン状フレーム23に固定する。

また、前記案内フレーム26の上面と他方のフレーム端25との間には一定の間隔の容器生地挿入口27が開口するようになっている。

また、第4図に示すようにスタンド21に前記した巻込み棒材1の把持柄14を挿入し、使用しない時に立てて置けるように柄差込穴28を設けてもよい。

なお、第4図中符号30で示した部分は巻込み

時の容器生地31の破断小片を受けるためのトレイである。

この考案の可食容器加工具は以上のように構成されたものであって、アイスクリーム売店の店頭に置いて使用する。

アイスクリームを入れる可食容器3は、まずメーカーで予じめ一次加工された煎餅状の容器生地31を加工時再加熱してから第5図に示すように案内プレート26上に置く。

このあと、コーン状フレーム23の容器生地挿入口27から生地の一部をコーン状フレーム23内に差し入れた後、このコーン状フレーム23内に差込み棒材1のコーン体11を挿入して反時計方向に把持柄14を持って生地31の自喰い込み方向に回転すると共に、必要に応じ前記容器生地31を更にコーン状フレーム23内に押込むようにすることで、前記コーン体11の周面の滑り止め突条12が前記生地に食込んで引込み、前記容器生地31がコーン体11の周囲に第7図に示すように自喰い込まれて巻き付き、前記生地31の一部が

重合して第6図に示すようなコーン状の可食容器3が加工できる。

この加工作業は容器生地31が冷えて堅くならない内に手早く巻き込み加工し、形が整ってから取り出すことが望ましい。

このようにして加工された可食容器3には、紙で作られたコーン状のカバーをその尖頭部側に取り付けたあと、アイスクリームを容器内に盛込み販売する。

このように店頭でコーン状の可食容器が作られ、直ちに食されるためいわゆるサクイ歯当りとなり、美味しく感じられる。

#### 〔考案の効果〕

以上述べたようにこの考案は前記した問題点を解決するための手段を採用したので、二次焼成した容器生地をコーン状の容器に容易に仕上げることができ、構成が簡単で動力源が不要である等の効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

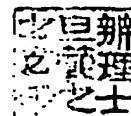
図はいずれもこの考案の一実施例を示すもの

で、第1図は巻込み棒材のコーン体側からの斜視図、第2図は同じく把持柄側からの斜視図、第3図は加工スタンドの斜視図、第4図は他の実施例を示す加工スタンドの斜視図、第5図はコーン状フレーム内に差込まれた容器生地を巻込み棒材で巻込み途中の断面図、第6図はコーン状の可食容器の斜視図、第7図は巻込み棒とコーン状の可食容器の斜視図、第8図はこの考案の他の実施例を示す略図である。

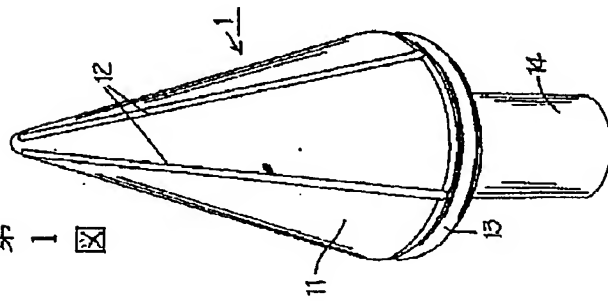
- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 … 巻込み棒材      | 11 … コーン体     |
| 12 … 滑り止め突条    | 14 … 把持柄      |
| 2 … 巻込み加工スタンド  | 21 … スタンド     |
| 22 … 支持片       | 23 … コーン状フレイム |
| 24, 25 … フレーム端 |               |
| 26 … 案内プレート    |               |

実用新案登録出願人 伊 藤 禎 美

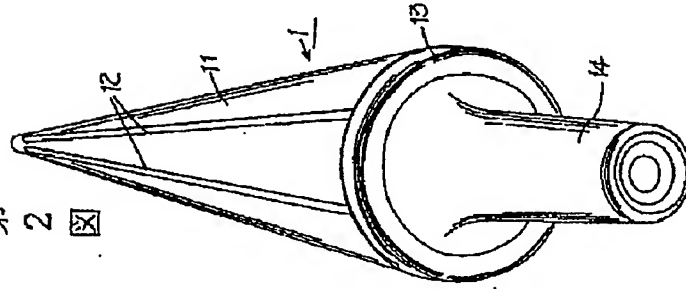
代 理 人 旦 範



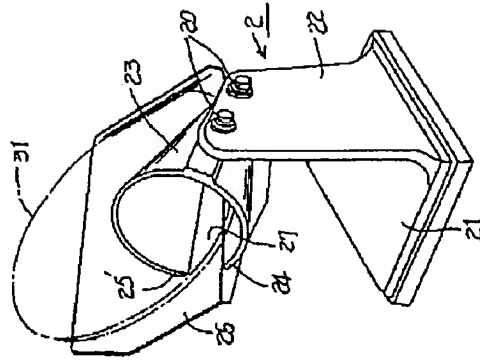
第 1 図



第 2 図



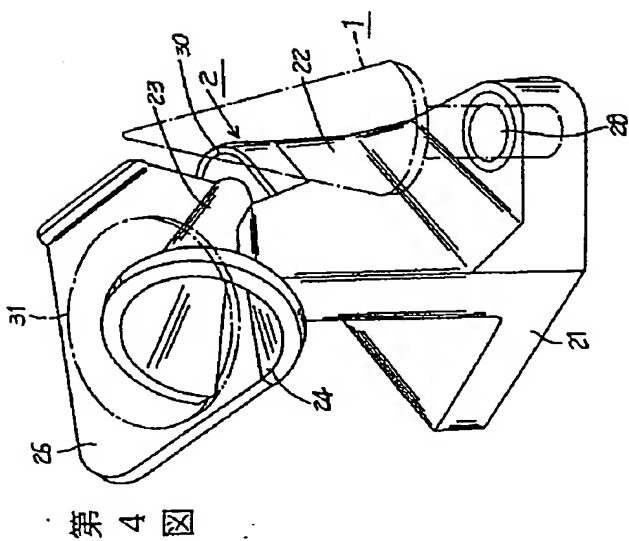
第 3 図



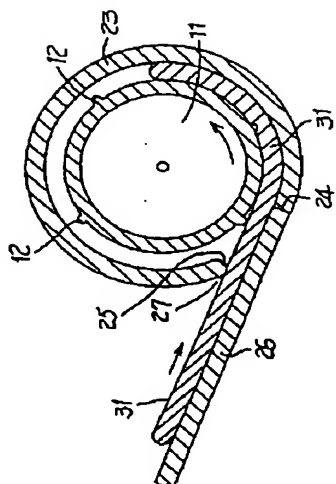
- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1...差込み棒材      | 11...コーン体   |
| 12...滑り止め突起    | 14...把持柄    |
| 2...差込み加工スタンド  | 21...スタンド   |
| 22...支持片       | 23...コーン状フレ |
| 24, 25...フレーム端 | 26...案内プレート |

特許庁

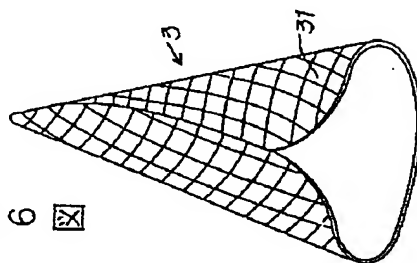
837  
実用新案登録出願人 伊藤 祐 祐  
代 理 人 垣之内 士  
1999 年 1 月 9 日 18 日



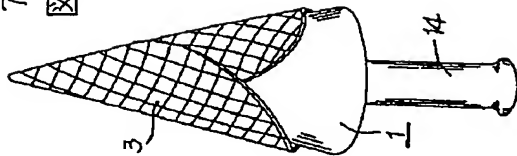
第 5 図



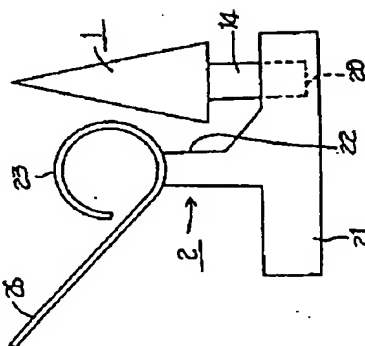
第 6 図



第 7 図



第 8 図



1...巻込み材料  
12...閉り止め突条  
2...巻込み加工スタンド  
22...支持片  
24,25...フレーム端

11...コーン体  
14...把持柄  
21...スタンド  
23...コーン状フレート  
26...案内プレート

伊藤・徳理  
代理人 伊藤 巨一  
838 代 理

